

令和3年度 環境で地方を元気にする
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

成果報告会 発表資料

活動団体の本事業への関わり

今年度より“環境整備”に取り組む	
昨年度から引き続き“環境整備”に取り組む	✓
昨年度までの“環境整備”を経て、今年度より事業化に取り組む	
昨年度までの“環境整備”と“支援チーム派遣（事業化支援）”を受けて引き続き事業化に取り組む	

活動団体名：郡上市地域共生圏協議会

活動地域：岐阜県郡上市

活動におけるテーマ・キャッチコピー

地域資源を活用して、

「経済×社会×環境×観光」を実現しよう

地域の現状

◎活動地域の概要

- 市全域の9割が森林であり、そのほとんどが一級河川「長良川」流域
- 郡上踊りなど観光産業が盛ん



◎活動地域の特性

- 移住・定住者が年々増加傾向にある
- 他の同規模地域と比べて域内利益率が高い
- 人口減少及びエネルギー費の域外流出

◎活動地域にある地域資源

- 自然資源・観光資源
- 行動力・発信力・巻き込み力を持つ「移住者」
- 地域資源に関する情報や人脈を持つ「地域団体」
- 実践力を持つ「市民団体」など

地域の課題

◎現状から考える地域の課題

- 人口減少、少子高齢化
- 次世代・移住・定住者の生活の糧を得る仕事作りや住みよい環境作り
- 都市部とのつながりの強化

◎今後取り組むべき課題

- 再生可能エネルギーの活用によるエネルギー費用の域外流出の抑制
- 産学官金が共に考え、分野を横断した取り組みに発展させるための体制づくり

◎地域循環共生圏構築を通じて、具体的に解決しようとする課題

- 再生可能エネルギーによって得た利益を原資に、市民や観光客の交通手段の充実、社会福祉や防災等のバックアップを行う。その運用手段として、デジタル地域循環共生圏PF構築による、地域通貨の導入も検討する。

2年目開始時点での地域版マンダラ

観光立市GUJO

郡上市循環共生圏



地域課題解決型事業

再エネ・省エネ事業

今年度の検討を受けて目指す地域の姿

郡上市地域共生圏協議会

観光立市_郡上市地域循環共生圏

2021/10/30,31 11/06,07
GUJO Outdoor Week 2021



地域のありたい未来の実現のために 今年度取り組んだこと

100年先も郡上に遊べる川と雪山を残すために



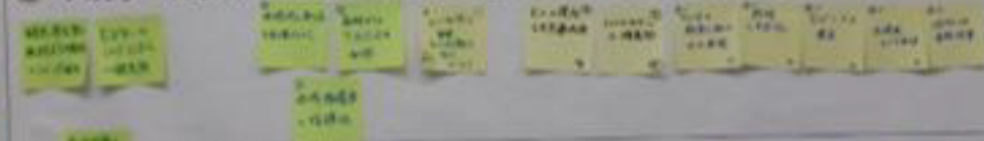
取り組みを通じた地域プラットフォームの変化

PF 郡上 意見交換会

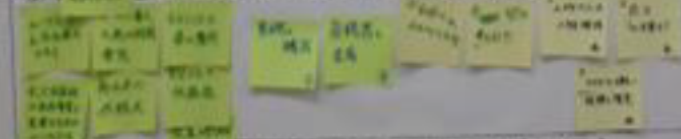
①目指したい郡上の観光/アウトドアの“スガタ・カタチ”とは？



②“スガタ・カタチ”の実現に必要な取組/取り組んでみたいことは？



③取り組む上での懸念・課題、困っていることなど

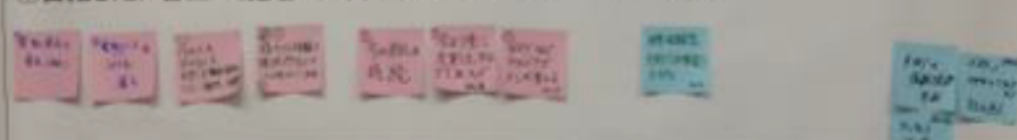


④気付いたこと、思いついたこと、提案したいこと

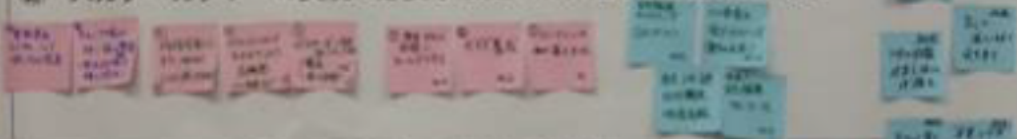


PF 郡上 意見交換会

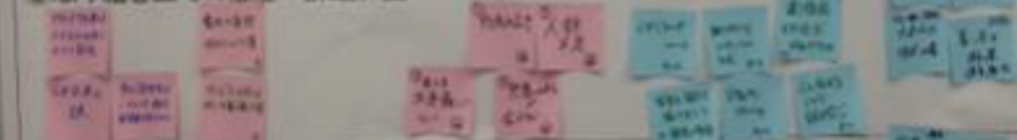
①目指したい郡上の観光/アウトドアの“スガタ・カタチ”とは？



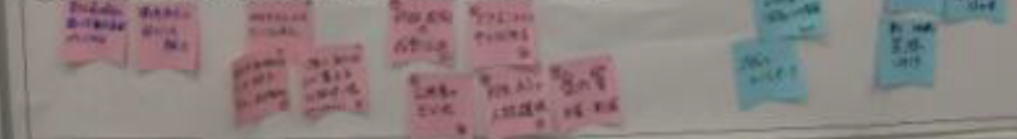
②“スガタ・カタチ”の実現に必要な取組/取り組んでみたいことは？



③取り組む上での懸念・課題、困っていることなど

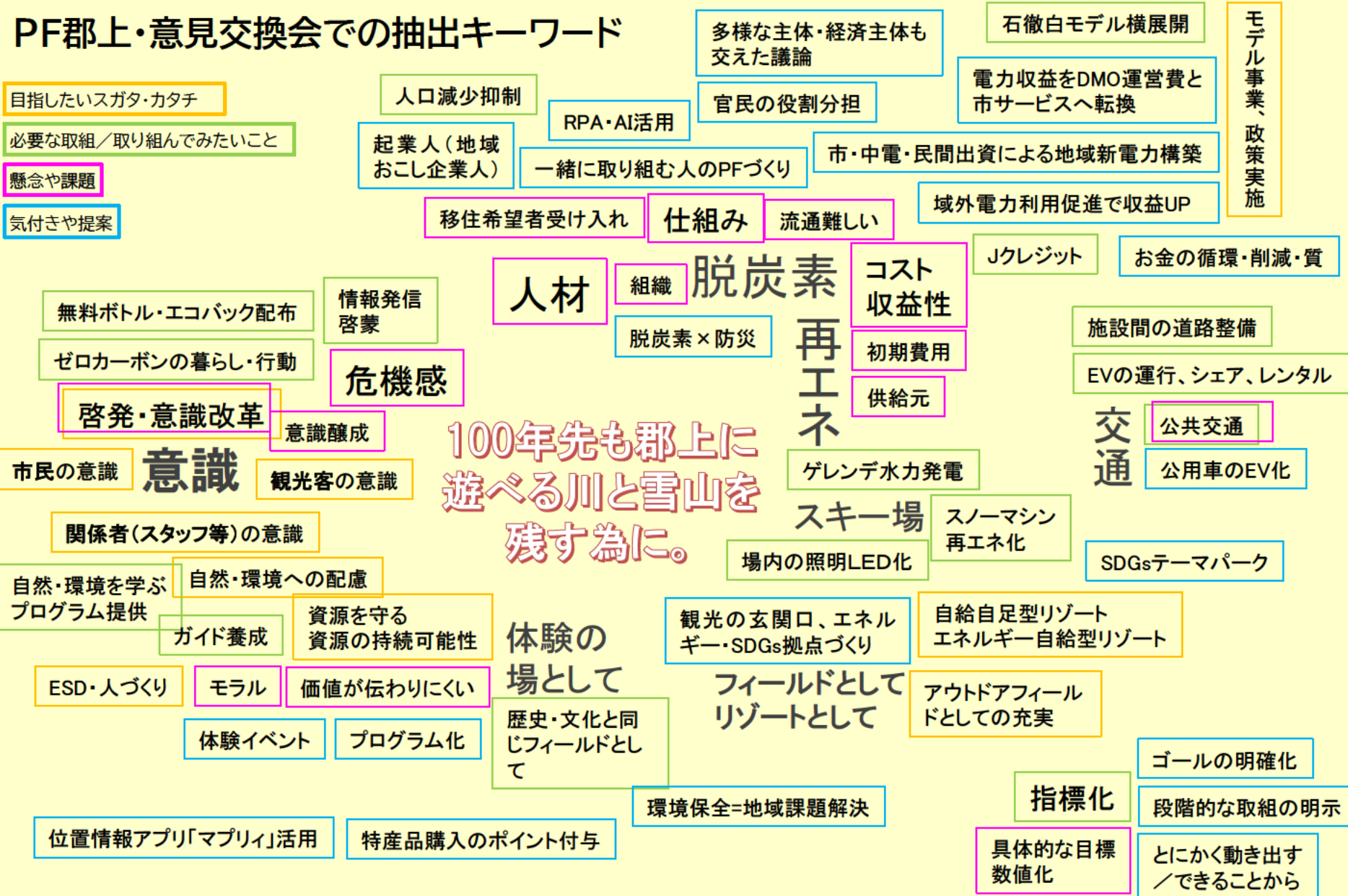


④気付いたこと、思いついたこと、提案したいこと



取り組みを通じた地域プラットフォームの変化

PF郡上・意見交換会での抽出キーワード



取り組みを通じた地域プラットフォームの変化

【苦労したこと】

地域循環共生圏なんて誰も知らない
(一年目)

ステークホルダーの皆さんは、
それぞれの立場で、地域、業界を
良くしようと活動している



地域全体が共通の価値観を共有して
向かっていく方向(ベクトル)の
確立が必要

他
A14-0102

- ・地域単位での小水力発電等の再生可能エネルギー施設の導入を進めます。
 - ・市内の再生可能エネルギーの利活用による地域循環共生圏の形成を進めます。
- 【3】森林整備等による二酸化炭素吸収源の保全・強化策の推進

【どんな変化があったのか】

2050年二酸化炭素排出実質ゼロに向けた取組等

(2021.10.25)

No.	自治体名	人口 (単位:万人) ※1	表明日	2050年カーボンゼロ表明概要	脱炭素に向けた主な取組・施策
262	愛知県 大山市	7.4	2021/2/26	令和3年3月定例会の市長施政方針において、市長が「ゼロカーボンシティ」の表明	公共施設における照明設備のLED化 地球温暖化防止対策のための国民運動「COOL CHOICE (買い選択)」の推進 再生可能エネルギーの導入、省エネ対策の実施
263	岐阜県 郡上市	(4.2)	2021/2/26	令和3年市議会定例会において、市長が「脱炭素社会 実現」を目標とする。また、市議会も同日、「脱炭素社会 実現」の表明を可決した。	【1】二酸化炭素の排出削減に向けた具体的な施策の推進 ・日常生活での省エネルギー対策と4R運動の展開による ごみの減量を進めます。 【2】地域の特性を活かした再生可能エネルギーの導入 ・利活用の推進 ・地域単位での小水力発電等の再生可能エネルギー施設 の導入を進めます。 ・市内の再生可能エネルギーの利活用による地域循環共 生圏の形成を進めます。 ・広大な森林を有する本市の特性を活かし、森林整備を計 画的に行い吸収源の保全・強化を図るとともに、木材など の森林資源の活用を進めます。 ・市民協働による木育や健全な森づくりを進めます。

取組におけるボトルネックや新たに見えてきた課題

地域・自然をどうしたいか

持続可
能な社
会維持

100年先
も遊べる
環境維持

環境意
識の強
いまち

社会
資本の
維持

郡上
の森・
自然

森林監理・森づくり

必要な仕組み？

観光・地域づくり

地域
総合
商社

官民
連携
組織

クレジットの活用

森林監理
の
価値化

アウトドア
ツーリズム
への活用

クレジットの換算

クレジット購入

今後の展望

郡上市のゼロカーボンシティに向けての
ゴール設定が必要



ゴールが決まらなければ、今何をすべき
かが決まらない

- ・ コロナ禍で停滞している地域経済
- ・ 多様なステークホルダー



地域商社？ローカルコモンズ？